

頑張っている人たちを紹介します!

ズームアップ

認定新規就農者の皆さん

8月17日に、プレオープンしたばかりの上熊井農産物直売所の一角をお借りして、お話を伺いました。(緑字は編集委員会コメント)

※認定新規就農者とは、新たに農業を営もうとする青年等で、町から自らの農業経営の目標などを記した「青年等就農計画」の認定を受けた方のことです。

●鳩山で農業を始めたきっかけと就農状況

石田さん

農業経済学を学び、現場で活かしたいと思った。直売所で販売し、給食センターに納めるなど、地産地消の農業をしてみたかった。

大豆戸で4年4カ月。100アールにオクラ、トマト、人参、菊芋など栽培。

多賀谷さん

秋田の大館にいた。鳩山で農業してくれる人を探していると知り、鳩山に来た。

奥田で5年半になる。稲作20アール、ニンジンイチゴなど30アール。

飯島さん

2015年に移住。2016年に千春さんが就農、2019年に紘一さんが脱サラして農業に。

大橋の耕作放棄地を150アール借り、ネギ、ニンニクなど耕作。

皆さん減農薬で頑張っているそうです。

●鳩山の第1印象は

- ・里山があり、自然が豊かで景観が良い。
- ・坂戸、毛呂山、越生に近く、利便性が良い。
- ・スローな良さが魅力。
- ・知り合いがいたので安心。



左：飯島紘一さん（飯島千春さんとはご都合でお休み）
中央：多賀谷優希さん 右：石田裕也さん

●鳩山で農業してみて良かったことは

- ・周りの人が温かい。
- ・友だちや仲間ができて、人間関係が深まった。
- ・適度な田舎が良い。

●鳩山で農業してみて大変だったことは

- ・夏がとにかく暑い。
- ・農業指導士が少ない。相談できる体制が欲しい。
- ・耕作放棄地を借りているが、粘土質の土壌は栄養素をためるが、作業性は良くない。

●鳩山のこれからの農業に必要なことは

- ・後継者が必要で、次世代につながる農業、自然に優しい農業への取り組み。
- ・鳩山の農業を気軽に、しかも本格的に学べる場所が欲しい。土壌のことなど営農指導してもらいたい。
- ・県の農林振興センターなどに連絡を取り、農業普及員にアドバイスを求めることができます。フォロー体制が必要ですね。

●これからの鳩山町にズバリ必要なことは

- ・お店や仕事が、もっとあると良い。
- ・教室がゆったりしており、教育環境が優れている。もっとアピールしてよい。子どもを大切にしている町の取り組みは大切。

(傍聴アンケートは P14)

次回定例会は
11月30日から
(予定)

■請願、陳情は11月19日17時まで提出して下さい。

■議会ホームページから音声配信しています。速報版は翌日(休日を除く)から配信されます。

QRコード



鳩山町に官製談合という激震が走りまわりました。あつてはならない官と民との癒着が、町の信用を失墜させました。「罪を憎んで人を憎まず」という言葉があります。やはり、町民にとっては納得できません。最近までは、人生70年と

編集後記

言われて来ました。今は100年時代と言われます。100歳を元気に迎えられることは、喜びだと感じます。自分の中に多くの良いことを探して生きて行ければと思います。このことは、皆さんにとっても考えさせられる事件のように思います。議会としても、再発防止に取り組みます。(小鷹)

議会クイズ

問題1 表紙の畑の作物は何ですか?

問題2 ナス、大豆、オクラ

問題3 鳩山の特別定額給付金の給付率は?

99.75%、97.5%

議会へのご意見・ご感想をお聞かせください。

●正解者の中から抽選で、お2人に町の特産品を差し上げます。(応募方法) はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号」を記入してください。(あて先) 〒350-0392 鳩山町大豆戸184番地16 議会事務局クイズ係 (締切) 11月30日(火)

★前号の答え
① 嵯峨 千代美様
② 佐藤 サチ子様

153号の当選者お2人
おめでとうございます